

油辟土

86T.250

257
I

木子長吉詩三首

魚イサ小コの墓カミ

幽蘭露如啼眼無物結同心
 煙花不堪剪草如茵松如蓋
 風為裳水為珮油壁車夕相
 待冷翠燭影光彩西陵下
 風吹雨 魚小墓

幽蘭の雨終は

泣けり眼に似て

わか恩は何もしての告げん

煙れつ花は 前まへから 得え堪かんえ物ものは

草は茵いんに似て

松は蓋がいを如ごとし

風は君きみ夜よと 珮はいと 似にれ

水は珮はいと 似にる

油辟あぶらひらきの車くるまして

夕ゆふされば君きみを待まちつ

16

佐夜妻夫